

平成 26 年 (2014 年) 10 月 8 日 <No-14>

長野県松本家畜保健衛生所
〒390-0851 松本市島内西川原 6931
TEL:0263-47-3223 FAX:0263-47-0101
E-mail:matsukachiku@pref.nagano.lg.jp
中信家畜畜産物衛生指導協会
TEL : 0263-47-6789

かほだより

豚流行性下痢 (PED) 対策の再徹底を

10月に入り気温の低下とともに再び感染拡大が心配されているPEDですが、本年5月、PED県内初発生が確認され、8月に沈静化となった安曇野市の農場において、PEDによる子豚の下痢が認められました。

当該事例の発生状況及び対策については次のとおりですが、様々な対応により、本病の影響を最小限に食い止めるよう、取り組んでいます。

今後、本ウイルスの活動が活発になる時期を迎えますので、引き続き飼養衛生管理基準の遵守等、防疫対策の徹底をお願いします。

◇発生状況 (10月6日現在)

月日	発生頭数	うち死亡頭数	淘汰頭数
9月30日 (火)	75	14	
10月1日 (水)	21	2	80
10月2日 (木)	7	0	7
10月3日 (金)	68	0	68
10月4日 (土)	6	0	6
10月5日 (日)	0	0	0
10月6日 (月)	14	0	14
合計	191	16	175

◇発症子豚の状況

今回初めて発症した子豚の母豚はワクチンを接種していましたが、初産時(本年5月)、PEDにより子豚が死亡し、乳腺が十分に発達していないと思われます。この母豚が2産目を分娩した際、乳が出ず、子豚に十分な移行抗体が付与されず、下痢を発症。このため豚舎内のウイルス量が増加し、初産及び2産目の豚に感染が拡大したものと推測されます。

◇対策

- 黄体退行ホルモン投与により昼間の分娩を誘起。(分娩を観察しやすくする。)
- 介護分娩。(出生後、ただちに乳を強制投与する。)
- 初乳が出ない母豚のみオキシトシン投与。(初乳を出やすくし、移行抗体を子豚に付与しやすくする。)
- PEDの兆候が見られる子豚は直ちに(下痢を発症する前)予防的殺処分*¹
 - * 1: 農場内のウイルス量を抑えるため、発症前にPEDに感染していると思われる子豚を処分
- 余剰な乳は、初乳・常乳にかかわらず搾乳し、保存。(出生子豚に与える。)
- ペストコントロール協会によるネズミ駆除*を実施し、病原体の拡散防止を図る

月日	内容	備考
8月19日	畜舎構造等事前調査	
9月25日	ダンクローデンGA* ² 専用無毒餌による生息調査	調査
9月30日	〃	無毒餌設置
10月7日・14日・21日	専用無毒餌の餌慣らし* ³	
10月28日	ダンクローデンGAによる駆除	
10月30日	駆除効果判定	
11月4日	慢性毒* ⁴ による駆除	

* 2: 急性毒(1~2g(1回の食事で約1g))で24時間以内に90%(目標)のネズミを駆除するリン化亜鉛製剤

* 3: 急性毒に対するネズミの警戒を低減するために給与

* 4: 急性毒で生き残ったネズミの駆除(約4日間食べ続け、1週間以内に死亡)

○駆除結果については、11月4日Mウイングにて開催の家畜衛生研修会で報告します。



しあわせ信州